

大阪府建築防災啓発員 研修③

2022年

危機管理室防災企画課
事業調整室都市防災課



目次

①大阪府において想定される地震と対策について

(危機管理室防災企画課)

②耐震化の必要性と基礎知識

(都市防災課耐震グループ)

③感震ブレーカーの必要性について

(都市防災課密集市街地対策グループ)

④確認テスト



感震ブレーカーの必要性について

阪神・淡路大震災（1995. 01. 17）



写真提供:神戸市

- ・神戸市を中心に大規模な建物倒壊・火災が発生
(4万人が建物の下敷きに)
- ・住宅が密集する地域で、大規模な火災が連鎖して発生

火災件数	焼損棟数
293件	7,574棟

出典 産経ニュース 神戸市

阪神・淡路大震災後の神戸市長田区



写真提供：神戸市

密集市街地の特徴

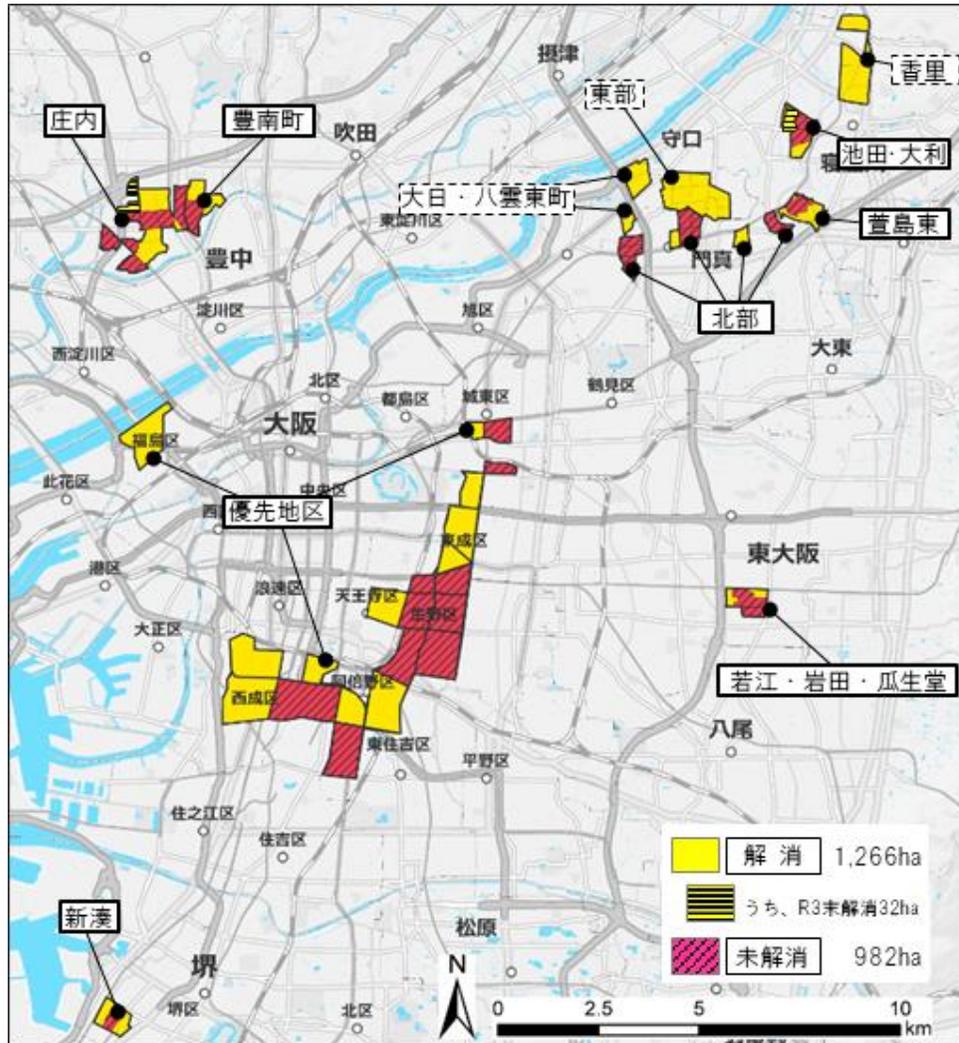
- ・道路が狭く、老朽化した木造住宅等が**密集**している
- ・地震や火災が発生すると、**大規模な火災**になる危険性が高く、**避難が困難**

➔ 「地震時等に著しく危険な密集市街地」



大阪府内の密集市街地

大阪府内の「地震時等に著しく危険な密集市街地」



市	H24当初	R3年度末	
		解消	未解消
大阪市	1,333ha	692ha	641ha
堺市	54ha	36ha	18ha
豊中市	246ha	125ha	121ha (R2年度末137ha)
守口市	213ha	213ha	0ha
門真市	137ha	29ha	108ha
寝屋川市	216ha	160ha	56ha (R2年度末72ha)
東大阪市	49ha	11ha	38ha
合計	2,248ha	1,266ha	982ha (R2年度末1,014ha)

全国ワースト1の規模

※全国1,989ha、東京都103ha(R4.3国土交通省公表)

大阪府内の密集市街地対策

老朽建築物等の
除却・建替え



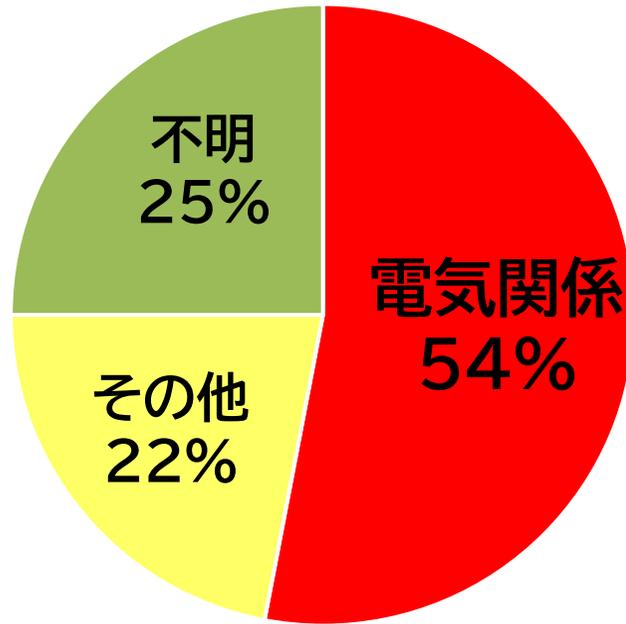
道路拡幅整備



大阪府における「地震時に著しく危険な密集市街地」の解消目標

R7年度末までに9割以上解消
R12年度末までに全域を解消

地震時の火災の原因



東日本大震災の火災原因 (日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より)

地震による火災の過半数は「**電気火災**」が1番多い！！



地震時の火災の危険性



出典：神戸市：『感震ブレイカー』をご存知ですか？
(<https://www.city.kobe.lg.jp/a10878/bosai/sho-bo/information/anzen/kanshinbreaker.html>) より

地震時の電気火災の対策

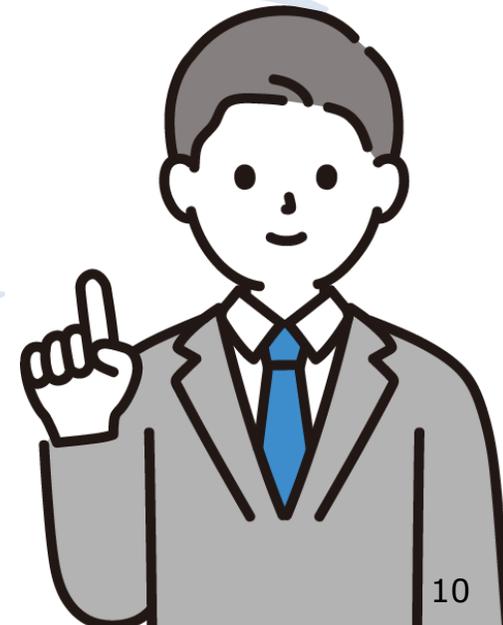


電気火災の対策はどうしたらいいの？

感震ブレーカーが効果的です

感震ブレーカーってなに？

地震時自動的にブレーカーを落とし電気を止める器具です



感震ブレーカーの種類(分電盤タイプ)



分電盤タイプ(内蔵型)

電気工事必要
約2万~8万円



分電盤タイプ(後付型)

お近くの電気工事店など
で相談



感震ブレーカーの種類(簡易タイプ)



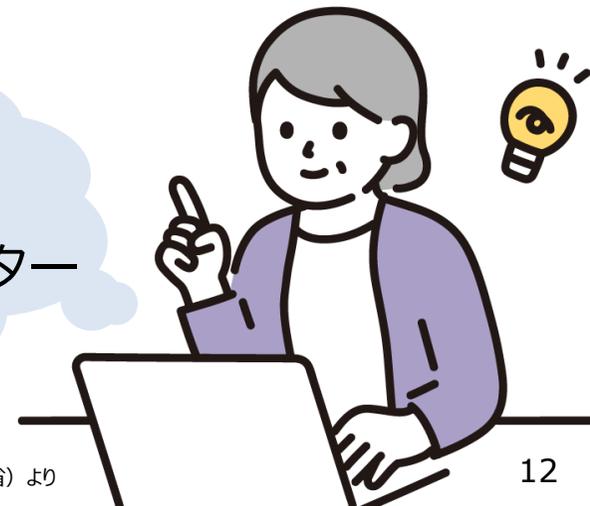
おもりタイプ

工事不要
約3千円~1万円



ばねタイプ

インターネットや
家電量販店ホームセンター
で購入可



感震ブレーカーの第三者認証制度

感震ブレーカーの性能評価を行う第三者認証制度があり
一定の基準を満たした製品には、下記の推奨マークが表示されています



分電盤タイプ



簡易タイプ

このマークを取得している製品をお勧めします



感震ブレーカーの助成制度

大阪府都市整備推進センター「地域活動支援」

対象区域

大阪市(住宅市街地総合整備事業区域内の指定された町丁目)、堺市(新湊地区)、豊中市(庄内、豊南町地区)、守口市(東部、大日・八雲地区)、門真市(北部地区)、寝屋川市(萱島東地区、池田・大利地区)、東大阪市(若江・岩田・瓜生堂地区)

対象内容

密集市街地内の自治会等が加入世帯の約5割以上の世帯へ感震ブレーカーを購入・設置する活動

対象者

自治会等

助成金額

2,000円/個を限度



最後に……

ご静聴ありがとうございました

